

四日市メリノール学院高等学校 2年 内田 采伽

私が未来の三重県民に伝えたいことは、「当たり前にあるものを、誇りとして守り続けてほしい」ということです。三重県には伊勢神宮をはじめとする長い歴史、海や山に囲まれた自然、そして人と人との距離が近い温かさがあります。しかし、これらはあまりに身近な為、その価値に気づかないまま過ごしてしまいがちです。私は県外から来た人に三重県の話をする時、「そんなに自然が多いのに便利なんだね」、「人が優しいね」と言われることがあります。そのたびに、自分が住んでいる場所の良さを、他人の言葉で初めて実感しました。未来の三重県では便利さや新しさが今よりも進んでいると思います。それでも自然や伝統、人のつながりを後回しにしてほしくありません。変わることは大切ですが変えてはいけないものもあります。静かな海、季節を感じる山、地域で支え合う暮らしは三重県の心そのものです。未来の三重県民にはこの県に生まれたことを誇りに思い、自分たちの手で三重の良さを次の時代へとつないでいてほしいです。また、私は未来の三重県が、若い人の挑戦を応援できる県であってほしいと思います。都会に出なければ夢は叶わない、という考えではなく、三重県にいながらでも自分の可能性を広げられる社会になってほしいです。